

## 2021年度 発達支援つむぎ つつじヶ丘ルーム 職員アンケート改善策報告

いつも発達支援つむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。  
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長または職員にお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
体制設備・環境について	Q2	入口や指導室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、お子さまが活動するに当たり安全な環境であるか。	4.29	開所時、閉所時以外にも、支援後など掃除と消毒を行っております。いつでも利用者さまに気持ちよく使っていただけるよう努力してまいります。
	Q3	職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	3.43	制度で定められている職員数と資格を持つ職員が配置されています。各職員の専門性の向上が図れるよう、研修や勉強会に参加できるよう努力してまいります。
	Q4	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	4.00	休憩時間をしっかり確保するようにしております。今後も時間の使い方を工夫して、効率よく休憩が取れるよう努力してまいります。
	Q5	ルーム内の環境や指導員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		
業務改善について	Q6	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	4.00	自身の支援、お子さまへの関わり方など、コンピテンシーを通して具体的なアクションプランを立てて取り組んでおります。
	Q7	保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.14	保護者様からのご意見を真摯に受け止め、早急な改善策を話し合い、信頼を得られるよう努力してまいります。
	Q8	この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	4.43	ホームページと施設内では、カフェで掲示をしております。
	Q9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4.29	本部による内部監査と自治体による実地指導の結果をもとに業務改善に努めてまいります。
	Q10	職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	4.43	法人内研修や勉強会など、学べる機会が設けられています。自治体による研修も可能な限り、参加して質の向上に努めてまいります。
	Q11	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		
適切な支援の提供について	Q12	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	4.14	アセスメントの方法は、法人で統一の様式を使って行っています。全職員がアセスメントを行えるよう情報を共有し、視点をすり合わせていけるよう努めてまいります。
	Q13	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.43	児童発達支援管理責任者が中心となって、保護者様のニーズや課題を的確に捉え、お子さまの発達に合わせた個別支援計画を作成していけるよう努めてまいります。
	Q14	グループ指導や個別指導のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	4.43	担当職員だけでなく、共に情報を共有し、必要に応じて助言し合い、お子さまが主体となるより良いプログラムが実施されるよう努めてまいります。
	Q15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4.43	お子さまの様子から興味の幅や関わり方の幅が広がるよう、いろんな人たちと関わる機会を設け、継続性を持ちつつ、発展して行けるプログラムを構成していけるよう努めてまいります。
	Q16	プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.57	朝礼や終礼などの日々の共有に加え、支援開始前と終了後に振り返りの時間を設けて、職員間の情報共有を行っております。
	Q17	支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.57	支援後に、職員同士で振り返りを行い、お子さまの様子、保護者様からのお話しなど、気づいたことを共有し、次の支援に反映させるよう努力しております。
	Q18	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	4.14	お子さまの様子から目標につながる見立てと個々の発達を見極めた内容を支援の記録として残り、着実に目標が達成できるよう支援の内容や関わり方を改善していけるよう努めてまいります。
	Q19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていますか。	4.43	児童発達支援管理責任者を中心として、モニタリングと策定会議を実施し、期間内に個別支援計画を提示し、ご説明させていただいております。
	Q20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	4.29	職員の専門性と保育経験を活かし、お子さまが様々な経験が積みながら必要な支援を提供していけるよう努めてまいります。
	Q21	適切な指導の提供について、ご意見をお聞かせください。		
	保護者との係連携について	Q22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.57
Q23		所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に務めているか。	3.86	保護者様からのご要望に沿って、訪問や電話でのやり取りをするなど、所属園との連携に努めております。ご要望がある場合には、速やかに共有し、連携に努めてまいります。
Q24		児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に務めているか。	4.00	地域の連携会議などを通して、他事業所と連携をとっております。各事業所の特徴を把握し、お子さまが必要としている支援が受けられるよう、ご提案をさせていただいております。
Q25		児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	3.71	保護者様からのご希望に沿って、お子さまが新しい場所でも継続した支援が受けられるよう共有してまいります。

保護者との関係構築について	Q26	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.14	発達支援センターと連携をとり、研修等の積極的な参加に努めてまいります。
	Q27	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	3.43	施設長が地域との連携会議に出席しております。ご利用者さまの増加に伴い、より多くの自治体とも連携を図っております。
	Q28	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	5.00	つむぎ利用児、園児共に、お子さま同士の関わりから得られる経験をより多くできるように全職員が意識を高めていけるよう努めてまいります。
	Q29	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	3.57	コロナ禍において、施設外の人たちと交流する機会が制限されていましたが、園庭開放やプログラムを通して、地域の方につむぎつじヶ丘ルームを知っていただく機会を設けてまいります。
	Q30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか。	3.14	支援後の振り返りにおいて、お子さまの成長やご家庭でできることや、関わり方などをお伝えしております。改めて、ペアレント・トレーニングなどの保護者支援につながる行事を行えるよう検討してまいります。
	Q31	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		
保護者やお子さまへの対応などについて	Q32	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.43	契約時にお伝えしておりますが、いつでもご確認いただけるようカフェにも掲示しております。より分かりやすい説明ができるよう努めてまいります。
	Q33	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.00	保護者対応に関する研修を行い、各職員が適切な助言ができるよう努めてまいります。
	Q34	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	4.43	保護者会や相談会など、現在よりも頻度を高く企画し、保護者同士が繋がる機会を設けてまいります。
	Q35	お子さまや保護者様からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.14	苦情やご意見を受けた職員は、迅速に施設長に伝え、適切な対応を行っているよう努めてまいります。
	Q36	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、お子さまや保護者様に対して情報を発信できているか。	4.43	口頭だけのお伝えでなく、掲示物や配布物を通して、保護者様へ情報をしっかり提供していけるよう努めてまいります。
	Q37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例：分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎているかなど)	4.14	職員一同分かりやすい言葉での伝えを心掛けております。保護者様が知りたいと思うことを丁寧にお伝えできるよう努力してまいります。
	Q38	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	4.29	個人情報の取り扱いや管理には十分注意し、互いに管理が徹底できるよう職員同士で声を掛け合い、施錠できるキャビネットに収納しております。
	Q39	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	4.71	つむぎ職員同士、園職員とも常に情報共有を行い、お子さまにとってよりよい支援を提供できるよう引き続き努めてまいります。
	Q40	保護者やお子さまへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		
非常時の対応について	Q41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	4.71	全職員があらゆる状況に対応できるようマニュアルを定期的に確認する機会を設けております。
	Q42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.71	園との合同避難訓練を毎月行い、有事に備えた対策をとっております。
	Q43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	4.14	毎年、園会議や保育の質の向上を目指した会議において虐待防止と権利擁護の研修を行っています。
	Q44	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.29	各職員が日々、ヒヤリハット事例を記録し、事故防止委員会が中心となって、事例検討や改善に向けた話し合いを行っています。
	Q45	非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		
満足度について	Q46	利用児はつむぎに楽しく通っていると思うか。	4.43	お子さまが楽しく通ることが職員にとっても楽しくやりがいを感じて支援を提供することができております。引き続き、お子さまのやりたい気持ちに寄り添った支援を提供してまいります。
	Q47	つむぎの支援を通じて、利用児の変化や成長を実感することがあるか。	4.43	お子さまの成長や変化を保護者様と共有することにより、さらなる成長や変化へ繋がっていると感じております。引き続き、お子さまのできることを伸ばしながら成長していけるよう努めてまいります。
	Q48	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		